

令和7年

火災・救急・救助  
などの活動概況



©稲沢市いなッピー  
火の用心1

稲沢市消防本部

※利用上の注意

構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ず100とはならない場合があります。

# 目 次

稲沢市管内概要 .....	1
119番受信概況 .....	2
緊急出動概況 .....	3
訓練指導及び調査概況 .....	5
予防概況 .....	7
<b>火災</b>	
火災概況 .....	10
年別出火件数・年別損害額 .....	11
署別出火件数・月別出火件数 .....	12
曜日別出火件数・時間別出火件数 .....	13
火災による死傷者数 .....	14
出火原因別出火件数・出火原因の推移 .....	15
<b>救急</b>	
救急概況 .....	16
種別ごとの救急出場件数 .....	17
署別救急出場件数・月別救急出場件数 .....	18
医療機関別搬送人員・時間別救急出場件数及び搬送人員 .....	19
傷病程度別搬送人員 .....	20
収容所要時間別搬送人員 .....	21
曜日別救急出場件数及び搬送人員 .....	22
<b>救助</b>	
救助概況 .....	23

# 稲沢市管内概要

## 面積・人口・世帯数

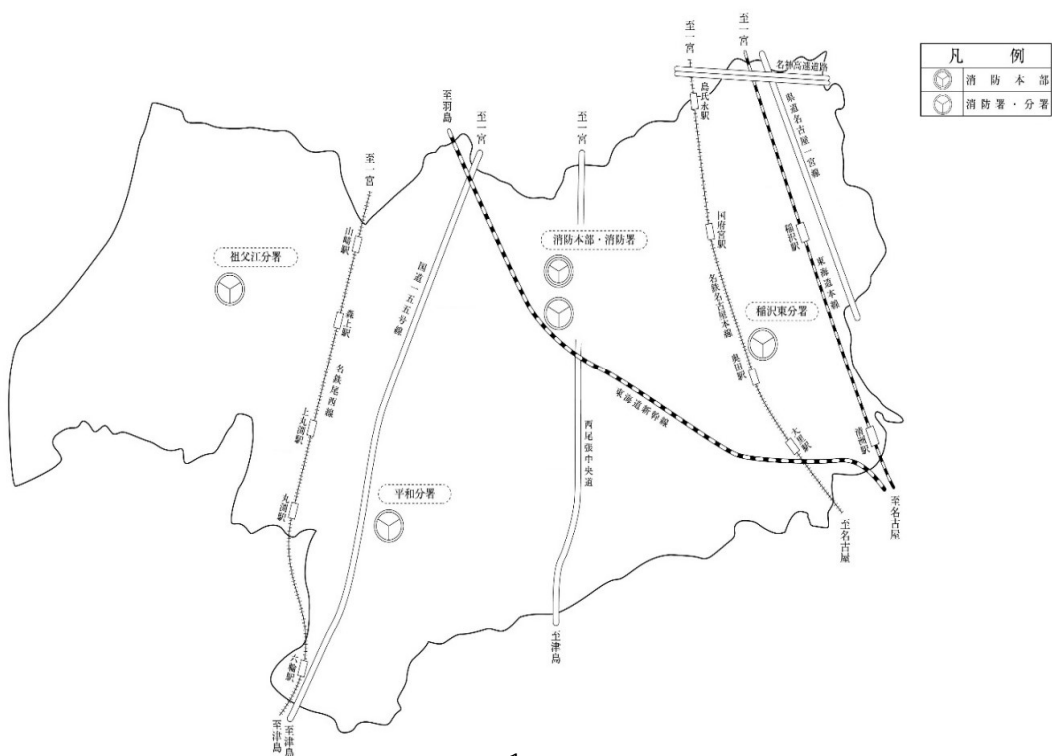
令和8年1月1日現在

区分	面積(k m <sup>2</sup> )	人口(人)			世帯数
		男	女	合計	
稲沢市	79.35	65,624	66,712	132,336	57,696

## 消防本部・消防署・消防指令センター 名称・所在地

名称	所在地
消防本部・消防署	稲沢市船橋町鯉坪321番地1
稲沢東分署	稲沢市井之口沖ノ田町37番地
祖父江分署	稲沢市祖父江町上牧下川田454番地
平和分署	稲沢市平和町中三宅高道34番地
一宮市・稲沢市消防指令センター	一宮市緑一丁目1番10号(一宮市消防本部内)

## 消防本部・消防署配置図



## 119番受信概況

119番受信状況は、第1表のとおり9,779件で、前年と比較して89件減少し、1日当たりの平均受信件数は26.8件となっている。

119番受信区分では、固定電話からの119番が4,334件で44.3%、携帯電話からの119番が5,445件で55.7%となっている。

第1表 119番受信状況

年別	区分	火災	救急	救助	その他	合計
令和5年	固定電話	32	3,264	10	1,124	4,430
	携帯電話	80	3,657	55	1,710	5,502
	合計	112	6,921	65	2,834	9,932
令和6年	固定電話	28	3,286	18	1,098	4,430
	携帯電話	100	3,832	56	1,450	5,438
	合計	128	7,118	74	2,548	9,868
令和7年	固定電話	21	3,276	11	1,026	4,334
	携帯電話	81	3,885	61	1,418	5,445
	合計	102	7,161	72	2,444	9,779

(注)「その他」は、警戒、訓練通報、間違い、病院問い合わせ等

## 緊急出動概況

緊急出動状況は、第1表のとおり9,528件で、前年と比較して132件増加している。1日当たりの平均出動件数は約26件となっている。

また、救急及び救急支援出動は、9,118件の緊急出動をし、全体の96%を占めている。

緊急出動を署別に見ると、稲沢東分署が約44%、次いで、本署が約26%を占めている。

**第1表 緊急出動状況 (件)**

種別 署別		火災	救急	救助	警戒	救急支援	合計	比率(%)
		令和6年	44	1,839	89	40	535	2,547
本署	令和7年	40	1,818	102	49	475	2,484	26.1%
稲沢東分署	令和6年	30	3,226	36	54	675	4,021	42.8%
	令和7年	16	3,427	44	49	695	4,231	44.4%
祖父江分署	令和6年	15	1,051	13	19	231	1,329	14.1%
	令和7年	17	1,080	14	20	221	1,352	14.2%
平和分署	令和6年	27	1,152	18	47	255	1,499	16.0%
	令和7年	16	1,156	15	28	246	1,461	15.3%
合計	令和6年	116	7,268	156	160	1,696	9,396	100
	比率(%)	1.2%	77.4%	1.7%	1.7%	18.1%		
	令和7年	89	7,481	175	146	1,637	9,528	100
	比率(%)	0.9%	78.5%	1.8%	1.5%	17.2%		

- (注) 1 「警戒出動」とは、ガス漏れ、怪煙、偵察、火災警戒、漏油、障害物及びその他の災害の発生が予想されるときに出動するものをいう。
- 2 「救急支援出動」とは、119番通報時の救急要請において心肺機能停止傷病者と判断されたとき、交通事故等の発生場所が幹線道路のとき、ヘリコプター救急のとき、その他、救急支援隊の出動が必要と判断されたときに、消防隊を出動させるものをいう。
- 3 平均件数は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、「約」を使用しています。

緊急出動件数を月別に見ると、第2表のとおりである。

火災、救急及び救助出動以外では、救急支援出動は月平均で約136件、警戒出動は月平均で約12件出動している。

**第2表 月別緊急出動状況 (件)**

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
火災	本署	3	3	6	2	3	1	2	3		2	6	9	40	89
	稲沢東分署	4		1	1	2	1	2		1	3	1	16		
	祖父江分署	4		2	1			1	1		1	4	3	17	
	平和分署			4	3			1	2			4	2	16	
	小計	11	3	13	7	5	2	6	6	0	4	17	15	89	
救急	本署	161	141	157	153	125	147	164	156	145	136	162	171	1,818	7,481
	稲沢東分署	347	270	284	268	260	255	320	300	274	257	292	300	3,427	
	祖父江分署	91	82	97	99	73	95	104	87	83	76	95	98	1,080	
	平和分署	121	96	92	100	77	89	97	104	80	78	114	108	1,156	
	小計	720	589	630	620	535	586	685	647	582	547	663	677	7,481	
救助	本署	2	5	12	16	8	12	9	10	12	6	5	5	102	175
	稲沢東分署	2	3	4	6	5	5	3	3	5	4	3	1	44	
	祖父江分署		1	2	3		2		2	2		1	1	14	
	平和分署	1		3	3			2	3			2	1	15	
	小計	5	9	21	28	13	19	14	18	19	10	11	8	175	
警戒	本署	2	3	6	3	5	4	4	5	3	5	2	7	49	146
	稲沢東分署	2	3	3	9	2	3	5	5	1	3	5	8	49	
	祖父江分署	2	1	3	3				1	3	2	2	3	20	
	平和分署	1	3	5	4	2	2	2	2	1	1	3	2	28	
	小計	7	10	17	19	9	9	11	13	8	11	12	20	146	
救急支援	本署	52	39	40	30	48	31	43	37	36	22	43	54	475	1,637
	稲沢東分署	85	65	57	54	55	46	54	58	58	38	58	67	695	
	祖父江分署	22	17	20	16	13	23	15	19	19	13	14	30	221	
	平和分署	29	20	24	21	17	22	17	20	20	14	20	22	246	
	小計	188	141	141	121	133	122	129	134	133	87	135	173	1,637	
合計		931	752	822	795	695	738	845	818	742	659	838	893	9,528	

(注) 平均件数は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、「約」を使用しています。

## 訓練指導及び調査概況

訓練指導及び調査状況は、第1表のとおり合計868件、前年と比較して48件増加している。  
 訓練指導については、自主防災会、事業所及び教育機関の合計288団体に対して訓練指導を実施している。  
 調査状況については、地理水利調査を349件実施している。

**第1表 訓練指導及び調査状況 (件)**

種別 署別		消防団訓練指導	自主防災会訓練指導	事業所訓練指導	教育機関訓練指導	普通救命講習会	消防署見学	地理水利調査	合計	比率
本署	令和6年	36	25	68	33	58	25	80	325	40%
	令和7年	49	23	66	36	55	17	104	350	40%
稲沢東分署	令和6年	24	35	31	23	18	4	70	205	25%
	令和7年	31	29	37	18	19	4	72	210	24%
祖父江分署	令和6年	15	1	15	14	14	1	81	141	17%
	令和7年	15	3	15	12	11	1	100	157	18%
平和分署	令和6年	11	11	29	10	7	1	80	149	18%
	令和7年	16	7	33	9	11	2	73	151	17%
合計	令和6年	86	72	143	80	97	31	311	820	100%
	比率	10.5%	8.8%	17.4%	9.8%	11.8%	3.8%	37.9%		
	令和7年	111	62	151	75	96	24	349	868	100%
	比率	12.8%	7.1%	17.4%	8.6%	11.1%	2.8%	40.2%		

(注) 訓練指導、講習会及び見学は、各種団体等からの依頼に基づき行うものをいう。

月別訓練指導及び調査状況は、第2表のとおりである。

**第2表 月別訓練指導及び調査状況**

(件)

種別・署別		月別												小計	合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
消防団訓練指導	本署				8	15	10	11	4			1		49	111
	稲沢東分署				5	9	11	6						31	
	祖父江分署					11	4							15	
	平和分署				5	7	4							16	
	小計				18	42	29	17	4			1		111	
自主防災会訓練指導	本署	1		3		1		2		2	7	5	2	23	62
	稲沢東分署	2	2	1	1		2	2	3	5	7	4		29	
	祖父江分署						1					2		3	
	平和分署		1			1	2			2		1		7	
	小計	3	3	4	1	2	5	4	3	9	14	12	2	62	
事業所訓練指導	本署	1	2	4	4	9	10	7	3	2	10	10	4	66	151
	稲沢東分署	3	1	3	2	2	5	1	2	1	6	9	2	37	
	祖父江分署	1	1	2						1	4	3	3	15	
	平和分署	2	2	1	2	2	6	1		3	7	5	2	33	
	小計	7	6	10	8	13	21	9	5	7	27	27	11	151	
教育機関訓練指導	本署		1	3	4	3	6	2	5	4	3	4	1	36	75
	稲沢東分署				2	4	1		1	1	4	5		18	
	祖父江分署				1	2	1				5	3		12	
	平和分署		1			1	1	1		1		4		9	
	小計		2	3	7	10	9	3	6	6	12	16	1	75	
普通救命講習会	本署	3	5	3	5	3	8	4	8	6	5	3	2	55	96
	稲沢東分署	2		2		1		1	3	1	8		1	19	
	祖父江分署		3	1	1	1		1	1		1	1	1	11	
	平和分署	1	2			1	2		1	1	1	1	1	11	
	小計	6	10	6	6	6	10	6	13	8	15	5	5	96	
消防署見学	本署			2	1				1	1	5	3	4	17	24
	稲沢東分署	1										3		4	
	祖父江分署											1		1	
	平和分署											1	1	2	
	小計	1		2	1				1	1	5	8	5	24	
地理水利調査	本署	9	9	13	1	3	2	10	14	19	6	4	14	104	349
	稲沢東分署		2		9	8	12	4	5	4	7	14	7	72	
	祖父江分署	10	4	6	9	4	9	8	9	7	3	10	21	100	
	平和分署	3	7	1	2	8	8	6	17	8	2	5	6	73	
	小計	22	22	20	21	23	31	28	45	38	18	33	48	349	
合計		39	43	45	62	96	105	67	77	69	91	102	72	868	

# 予 防 概 況

第 1 表 消防関係法令・火災予防条例に基づく届出状況

届 出 項 目	件 数	比 率
工 事 整 備 対 象 設 備 等 着 工 届 出 書	130	2.5
消 防 用 設 備 等 ( 特 殊 消 防 用 設 備 等 ) 設 置 届 出 書	197	3.8
消 防 用 設 備 等 ( 特 殊 消 防 用 設 備 等 ) 点 検 結 果 報 告 書	1,862	35.7
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届 出 書	241	4.6
消 防 計 画 作 成 ( 変 更 ) 届 出 書	263	5.0
道 路 工 事 届 出 書	1,188	22.8
消 防 職 員 の 派 遣 ・ 指 導 ・ 消 防 訓 練 実 施 届 出 書	923	17.7
変 電 ・ 蓄 電 ・ 発 電 ・ 急 速 充 電 設 備 設 置 届 出 書	24	0.5
禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請 書	21	0.4
催 物 開 催 届 出 書	3	0.1
露 店 等 の 開 設 届 出 書	105	2.0
溶 接 溶 断 作 業 届 出 書	93	1.8
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出 書	82	1.6
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	60	1.2
ヒートポンプ・サウナ・ボイラー・給湯湯沸設備設置届出書	20	0.4
合 計	5,212	100

区分別消防同意状況は、第2表のとおりである。

**第2表 区分別消防同意状況** (件)

区分	月別												合計	比率
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
新 築	3	7	7	1	10	6	4	3	13	8	8	9	79	74.4
増 築	3	6		5	3	1	1	4	1	5	3	3	35	30.7
改 築													0	0
用 途 変 更													0	0.8
そ の 他													0	0
合 計	6	13	7	6	13	7	5	7	14	13	11	12	114	100

消防用設備等の検査状況は、第3表のとおりである。

**第3表 消防用設備等の検査状況** (件)

消防用設備等	月別												合計	比率	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	6	2	5	5	1	3	1	2	2		1	1	29	19.0
	パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備			1			1		1		1			4	2.6
	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備		1	1	2				1	1		2		8	5.2
	屋 外 消 火 栓 設 備	1	1	1							1			4	2.6
	泡 消 火 設 備													0	0
	粉 末 消 火 設 備	1												1	1
	ガ ス 消 火 設 備											1		1	1
	動 力 消 防 ポ ン プ 設 備				1								1	2	1
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	6	9	10	9	2	4	4	5	3	4	5	3	64	42.3
	消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	1			1	1		2			1			6	3.9
	非 常 警 報 器 具 ・ 設 備													0	0
	非 常 放 送 設 備		1		1			1		1		1		5	3.3
	漏 電 火 災 警 報 器													0	0
避 難 設 備	避 難 器 具								1					1	1
	誘 導 灯 ・ 誘 導 標 識	6	2	6	4		3	1	3	3				28	18.3
そ の 他	消 防 用 水													0	0
	連 結 送 水 管													0	0
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備													0	0
	排 煙 設 備													0	0
合 計	21	16	24	23	4	11	9	13	10	7	11	4	153	100	

危険物製造所等の許可・届出状況は、第4表のとおりである。

**第4表 危険物製造所等の許可・届出状況** (件)

製造所等別 区分		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				合 計	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所
許 可	設 置		3						2					5
	変 更		5			2							34	41
仮 使 用 承 認			5			1							34	40
完成検査	設 置								2					2
	変 更		7			1				1			32	41
予 防 規 程 認 可										2			1	3
軽 微 な 工 事 届						1			1	9			33	44
品名・数量・倍数変更届			4										1	5
保安監督者選任・解任届		1	18	8					4	10			6	47
廃 止 届		1	1	1		1			1					5
合 計		2	43	9	0	6	0	0	10	22	0	0	141	233

# 火 災 概 況

火災の状況を前年と比較すると第1表のとおり、出火件数は44件で10件減少し、損害額は増加している。

火災種別ごとでみると、建物火災が22件で、全体の50%と最も高い割合となっている。

**第1表 令和7年中の火災状況と前年との比較**

区 分	単位	令和7年(A)	令和6年(B)	増減(C) (A-B)
出火件数	件	44	54	△10
建物火災		22	27	△5
車両火災		3	1	2
その他の火災		19	26	△7
焼損棟数	棟	28	30	△2
全焼		10	9	1
半焼		0	2	△2
部分焼		5	4	1
ぼや		13	15	△2
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	1,335	1,241	94
死者	人	2	2	0
負傷者		5	14	△9
り災世帯	世帯	22	19	3
り災人員	人	44	41	3
損害額	千円	151,599	94,149	57,450
建物火災		150,377	92,709	57,668
車両火災		1,215	45	1,170
その他の火災		7	1,395	△1,388
出火率	%	3.3	4.1	△1

(注) 1 死者は、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者をいう。

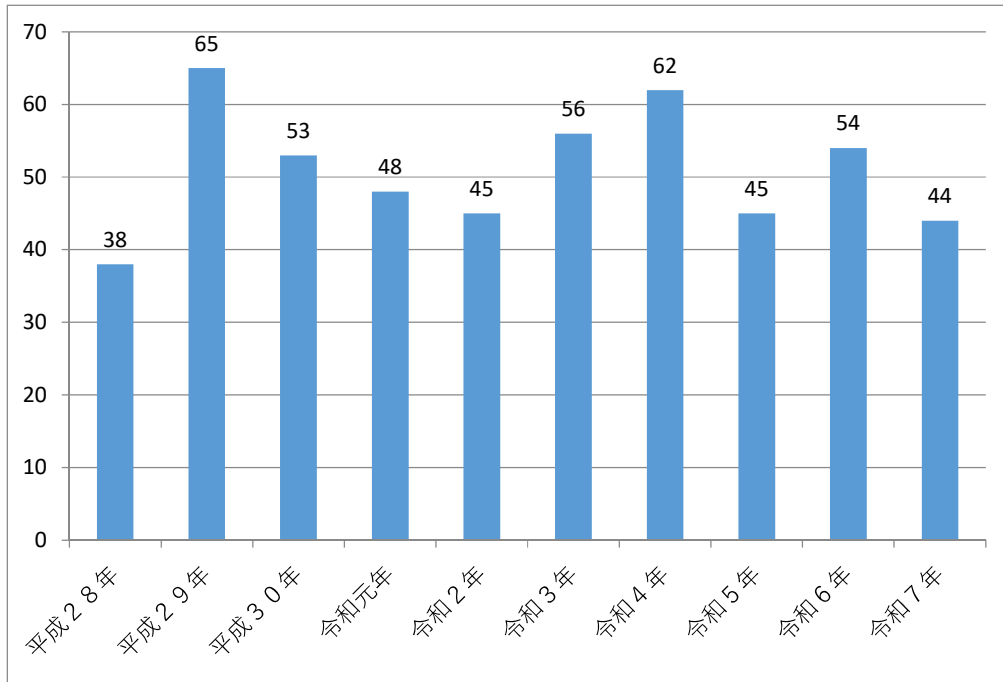
2 出火率は、人口1万人当たりの出火件数の割合をいう。

## 年別出火件数

過去10年間の出火件数の推移をみると第1図のとおり、平成29年の出火件数が65件と最も多くなっており、最も少ない年は平成28年で38件である。

令和7年の1日当たりの出火件数は0.12件であり、8.3日に1件の割合で火災が発生したことになる。

第1図 年別出火件数

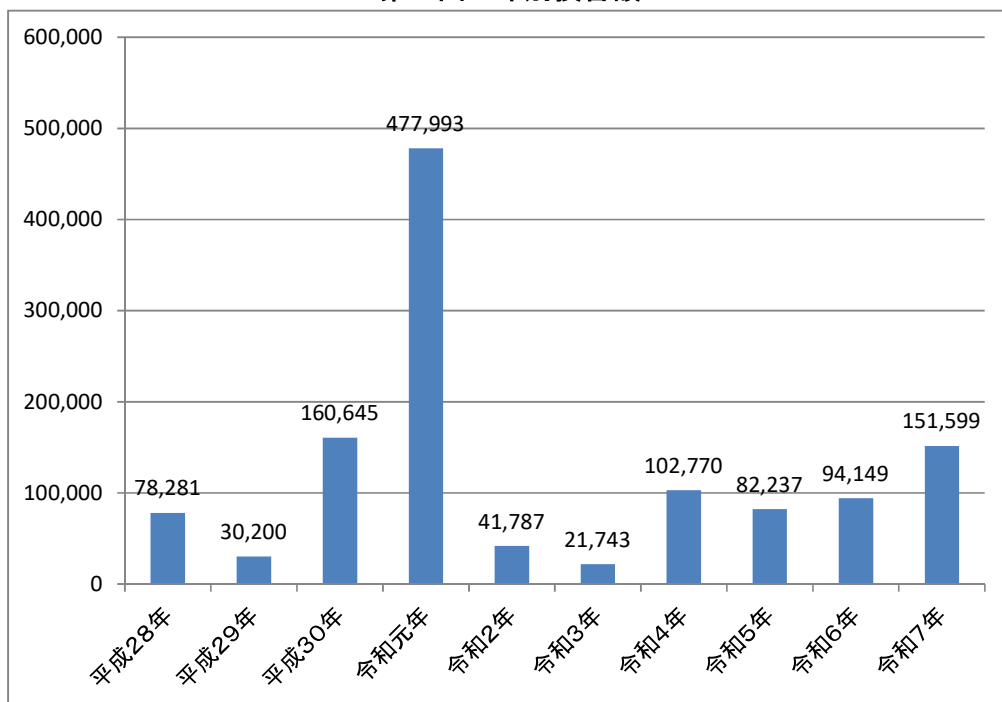


## 年別損害額

過去10年間の損害額の推移をみると第2図のとおり、令和元年の損害額が477,993千円と最も多く、令和3年は21,743千円と最も少なくなっている。

第2図 年別損害額

(千円)



## 署別出火件数

出火件数の44件を署別にみると第2表のとおり、本署が17件と最も多く、平和分署が6件で最も少ない。

署別出火件数を前年と比較すると、本署は4件増加している。稲沢東分署は4件減少、祖父江分署は3件減少、平和分署は7件減少している。

第2表 署別出火件数前年比較

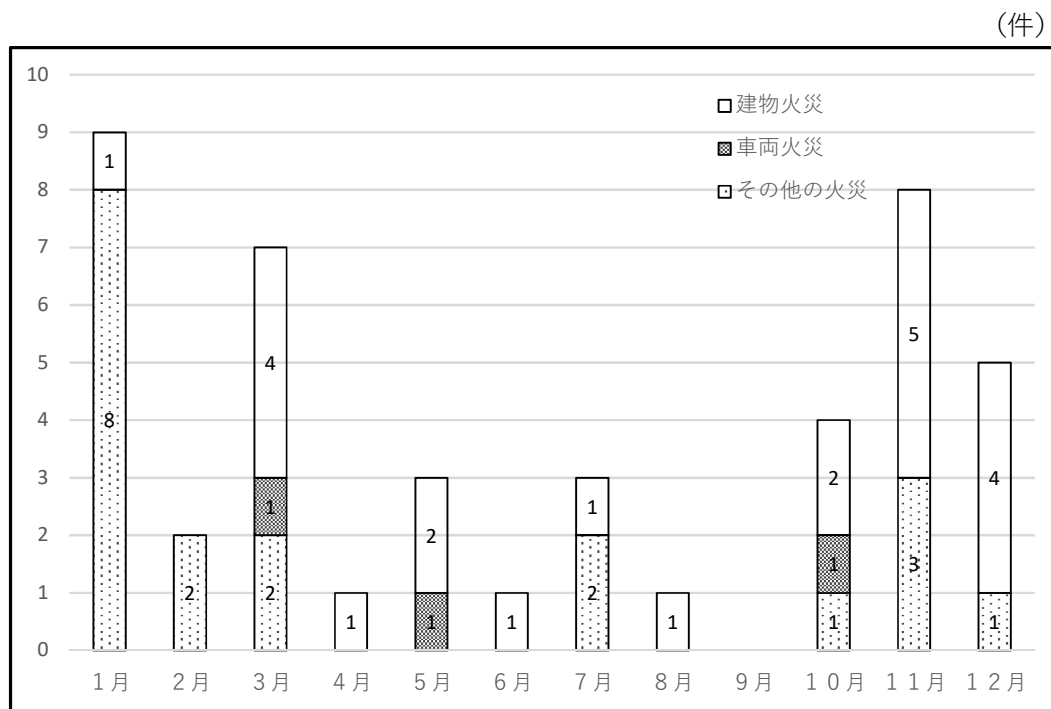
	令和7年(A) 出火件数	令和6年(B) 出火件数	増減(C) (A-B)	増減(%) (C/B)
本署	17	13	4	30.8
稲沢東分署	9	13	△4	△30.8
祖父江分署	12	15	△3	△20.0
平和分署	6	13	△7	△53.8
合計	44	54	△10	△18.5

## 月別出火件数

出火件数の44件を月別にみると第3図のとおり、1月が9件と最も多く発生した。

火災種別ごとにみると建物火災は11月が5件、車両火災は3月・5月・10月が1件、その他の火災は1月が8件と最も多く発生している。

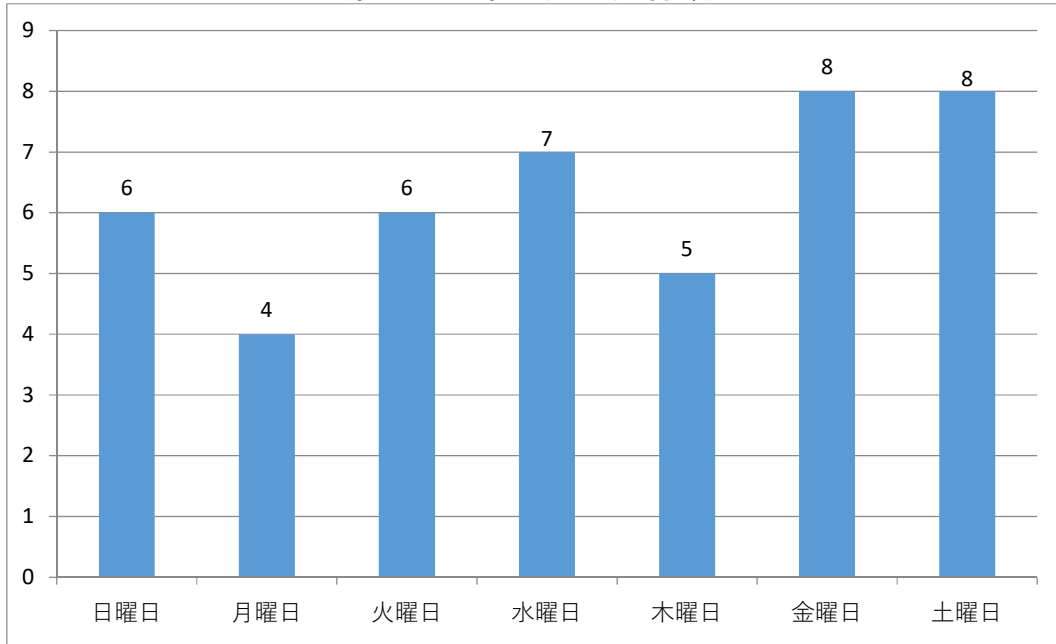
第3図 月別出火件数



## 曜日別出火件数

出火件数の44件を曜日別にみると第4図のとおり、金曜日及び土曜日が8件と最も多く発生した。

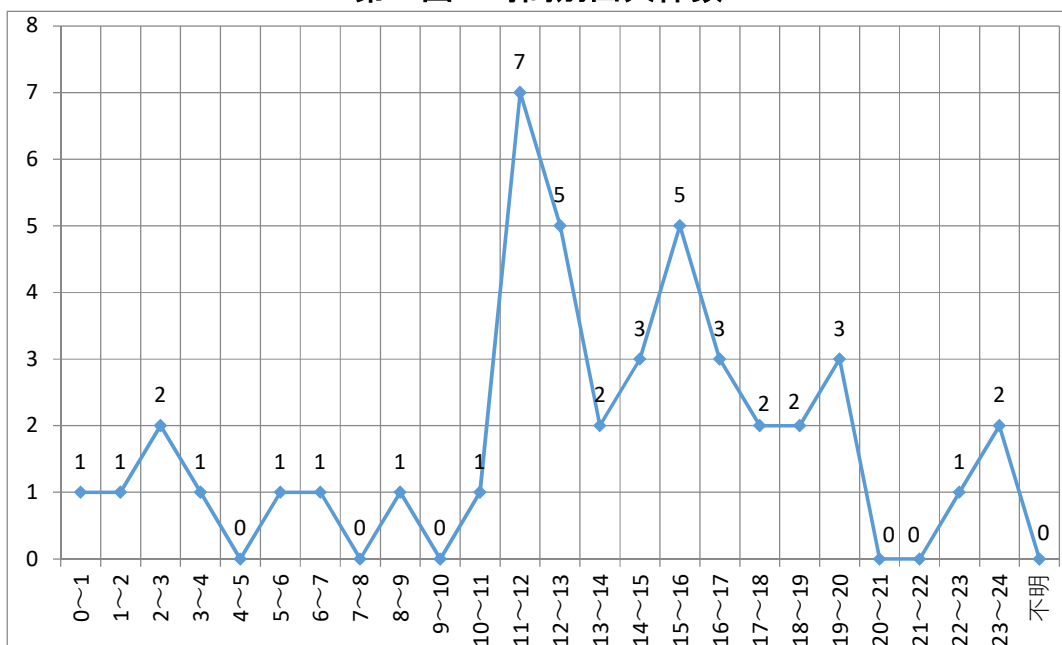
第4図 曜日別出火件数 (件)



## 時間別出火件数

出火件数の44件を時間別にみると第5図のとおり、11時から12時までが最も多く7件発生しており、深夜から早朝にかけての時間帯は出火件数は少ない。

第5図 時間別出火件数 (件)



# 火災による死傷者数

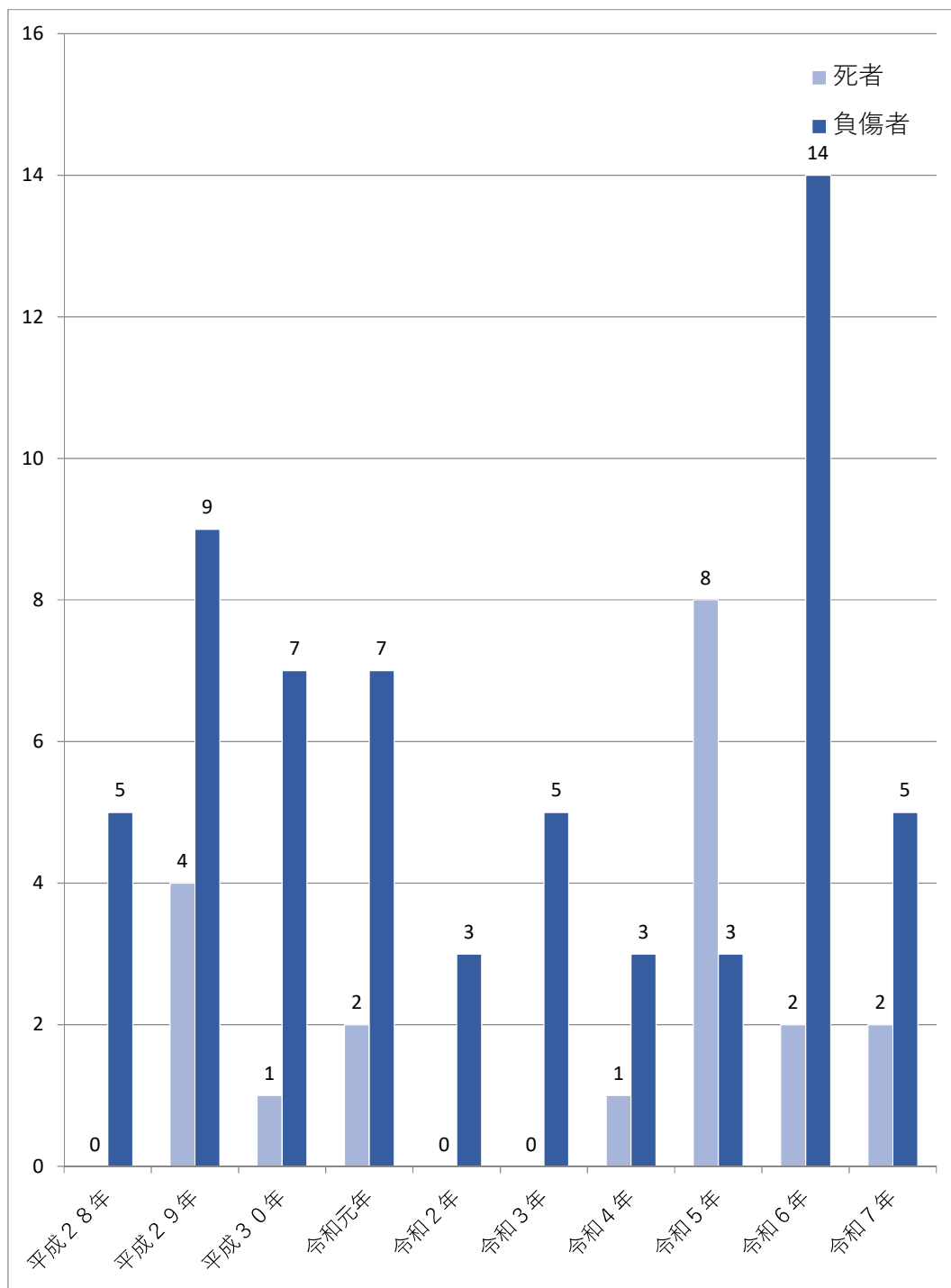
令和7年の火災による死傷者発生状況については、死者2人、負傷者5人であった。

過去10年間の死傷者数は第6図のとおり、死者数は令和5年が8人と最も多くなっている。

負傷者数は、令和6年が14人と最も多く、次いで平成29年の9人の順となっている。

第6図 年別死傷者数

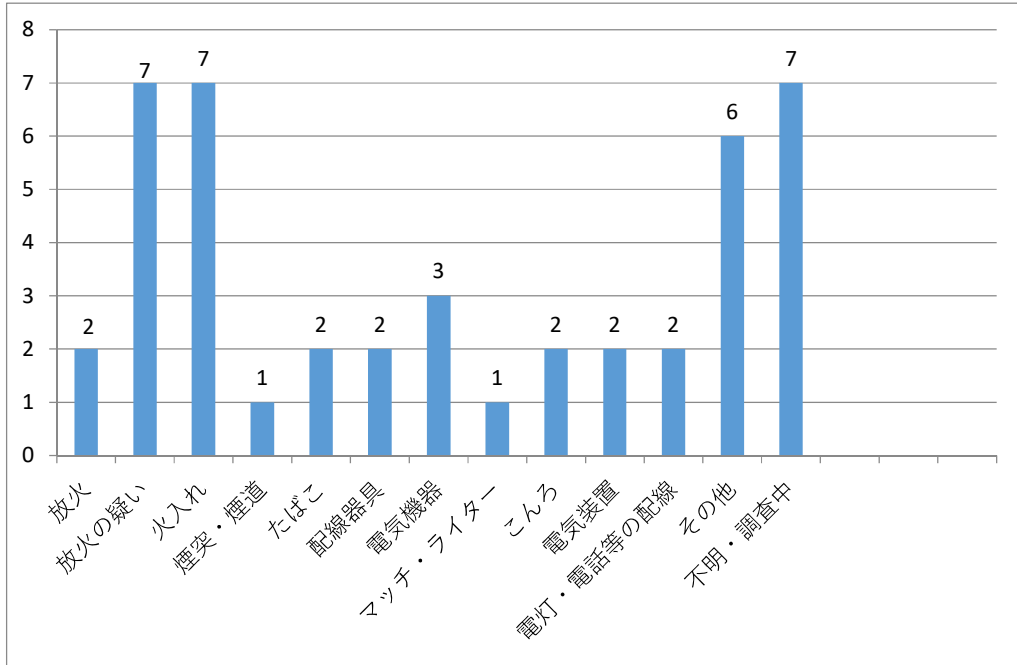
(人)



## 出火原因別出火件数

出火件数の44件を出火原因別にみると第7図のとおり、放火・放火の疑いによる火災を合わせると9件と多く発生し、全体の約20%を占めている。

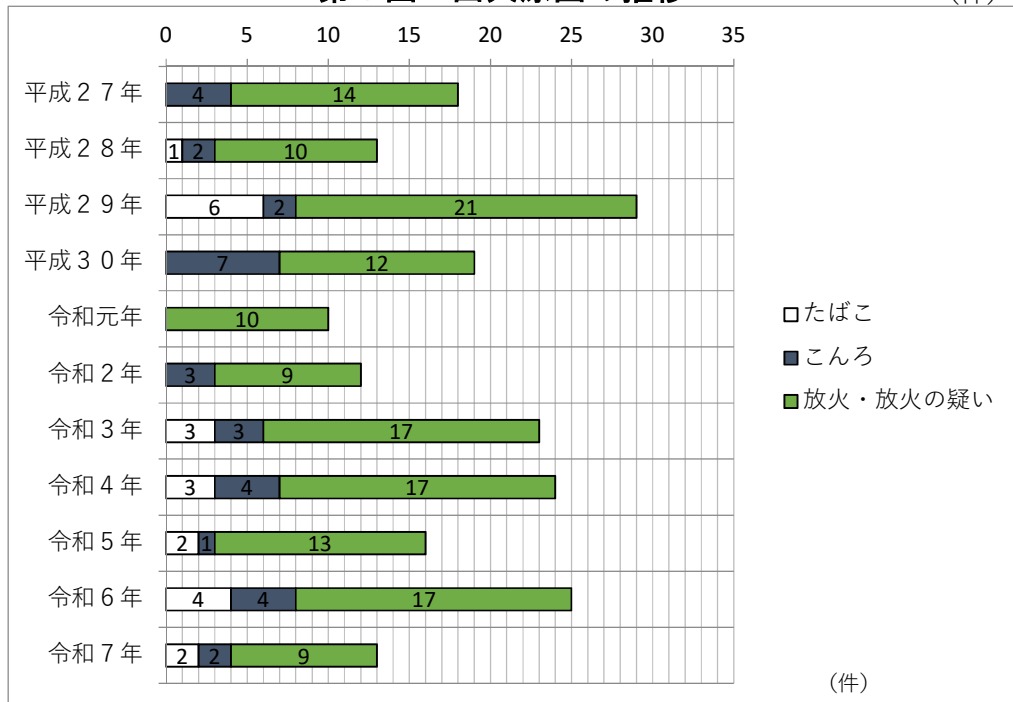
第7図 出火原因別出火件数 (件)



## 出火原因の推移

過去10年間の主な出火原因の推移をみると第8図のとおり、毎年、放火・放火の疑いによるものが出火原因の上位を占め、平成29年が21件と最も多く発生している。

第8図 出火原因の推移 (件)



# 救 急 概 況

救急業務実施状況は、第1表のとおり救急出場件数は、7,481件で前年と比較して113件増加している。1日当たりの平均出場件数は、20件の割合で救急隊が出場したことになる。

また、搬送人員は7,196人で前年と比較して135人増加している。

なお、当消防本部管内の住民18人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

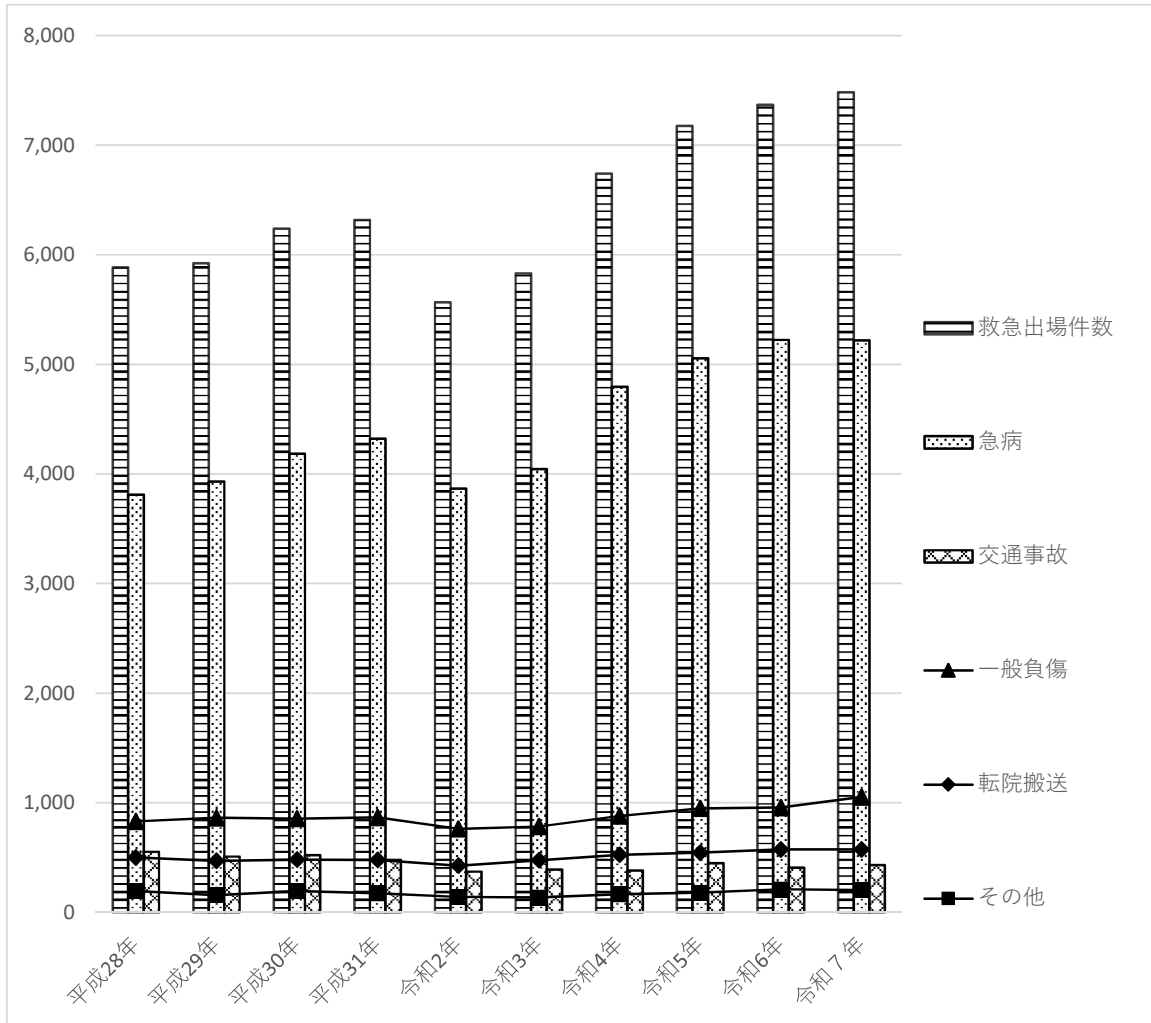
第1表 救急業務実施状況

事故種別		署別												
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	
本署	令和6年	件数	13	1	1	120	13	11	243	3	7	1,333	94	1,839
		人員	8	1	0	118	13	11	232	3	5	1,275	87	1,753
	令和7年	件数	9	0	2	107	19	11	278	1	6	1,305	80	1,818
		人員	1	0	1	98	19	11	269	1	6	1,250	67	1,723
稲沢東分署	令和6年	件数	12	0	0	161	32	13	435	10	20	2,327	316	3,326
		人員	3	0	0	161	32	13	432	10	14	2,209	315	3,189
	令和7年	件数	5	0	0	197	32	13	462	5	13	2,385	315	3,427
		人員	2	0	0	205	32	15	460	4	10	2,287	312	3,327
祖父江分署	令和6年	件数	2	0	2	49	12	6	145	1	7	725	102	1,051
		人員	2	0	1	54	12	6	142	1	4	695	100	1,017
	令和7年	件数	2	0	1	48	21	8	167	1	9	706	117	1,080
		人員	0	0	1	47	21	7	162	0	4	676	116	1,034
平和分署	令和6年	件数	2	0	1	77	19	3	133	4	5	837	71	1,152
		人員	0	0	0	77	19	3	131	2	4	796	70	1,102
	令和7年	件数	2	0	1	80	15	5	146	1	4	822	80	1,156
		人員	0	0	1	80	15	5	143	0	3	788	77	1,112
合計	令和6年	件数	29	1	4	407	76	33	956	18	39	5,222	583	7,368
		人員	13	1	1	410	76	33	937	16	27	4,975	572	7,061
	令和7年	件数	18	0	4	432	87	37	1,053	8	32	5,218	592	7,481
		人員	3	0	3	430	87	38	1,034	5	23	5,001	572	7,196

# 種別ごとの救急出場件数

救急出場件数7,481件を種別ごとに見ると、第1図及び第2表のとおりであり、第1図を見ると、急病が最も多く、次いで、一般負傷、転院搬送の順となっている。

第1図 種別ごとの救急出場件数



第2表

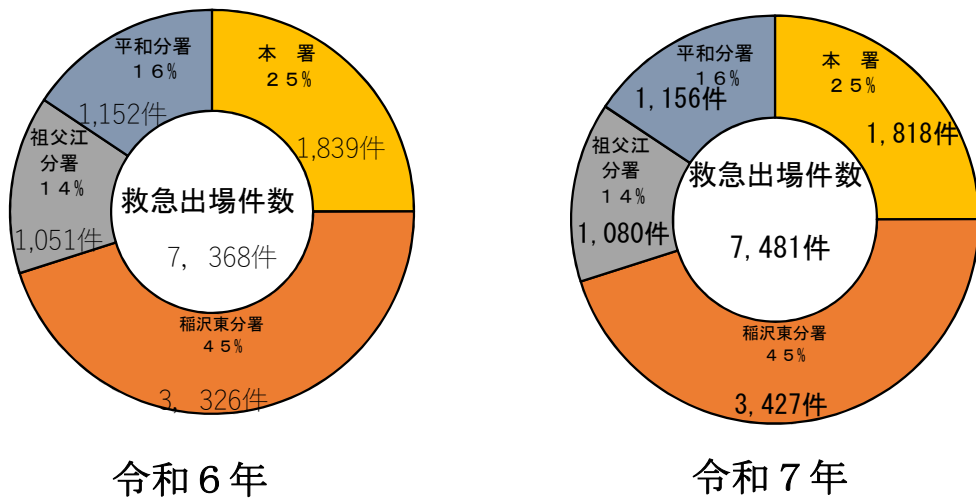
	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
救急出場件数	5,884	5,923	6,238	6,316	5,565	5,830	6,742	7,175	7,368	7,481
急病	3,810	3,928	4,184	4,323	3,867	4,045	4,793	5,056	5,222	5,218
交通事故	551	507	522	478	371	391	383	449	407	432
一般負傷	830	862	854	864	762	784	878	947	956	1,053
転院搬送	499	470	482	477	426	474	524	545	573	574
その他	194	156	196	174	139	136	164	178	210	204

## 署別救急出場件数

救急出場件数7,481件を署別に見ると第2図のとおり稲沢東分署が3,427件と最も多く、次いで本署、平和分署、祖父江分署の順となっている。

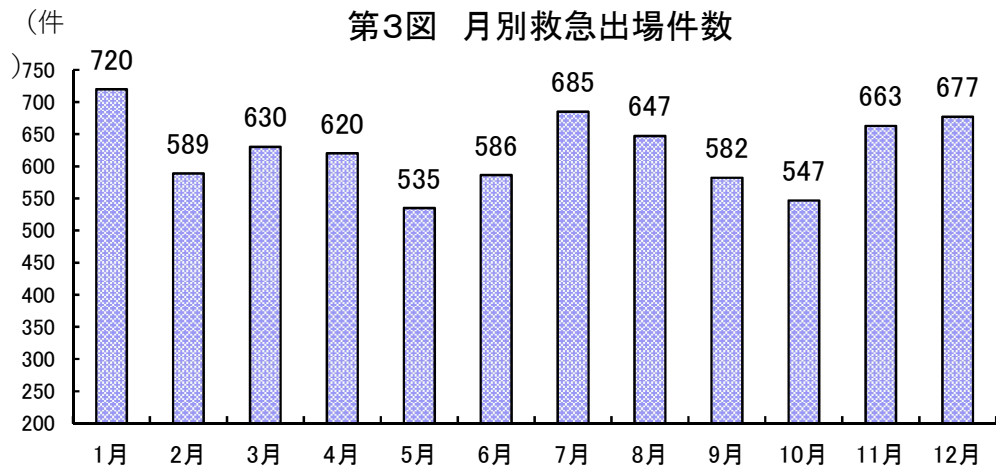
前年と比較すると、本署は21件減少し、稲沢東分署は101件、祖父江分署は29件、平和分署は4件の増加となり、合計では113件の増加している。

第2図 署別救急出場件数



## 月別救急出場件数

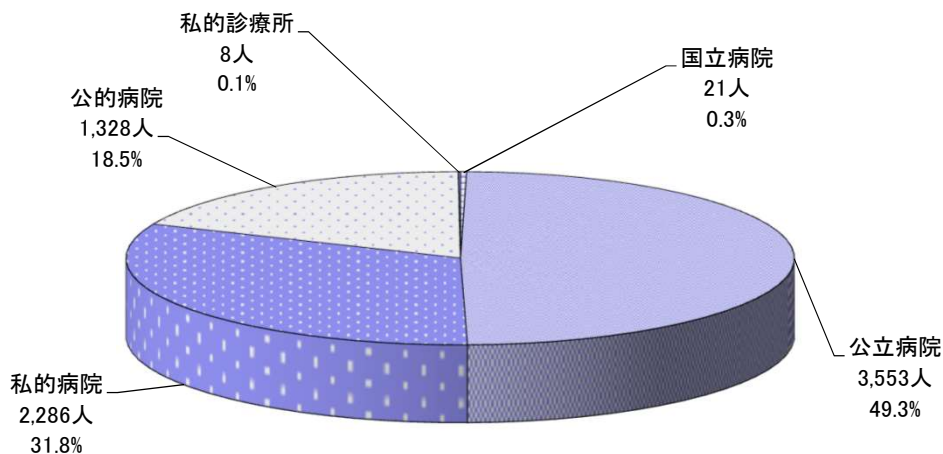
救急出場件数7,481件を月別に見ると、第3図のとおり、1月が720件と最も多く、次いで7月、12月の順となっている。最も少なかったのが5月の535件で、月平均にすると623件となる。



## 医療機関別搬送人員

搬送された7,196人の搬送状況を医療機関別に見ると、第4図のとおり公立病院が3,553人と最も多く、次いで私的病院、公的病院の順となっている。

第4図 医療機関別搬送病院

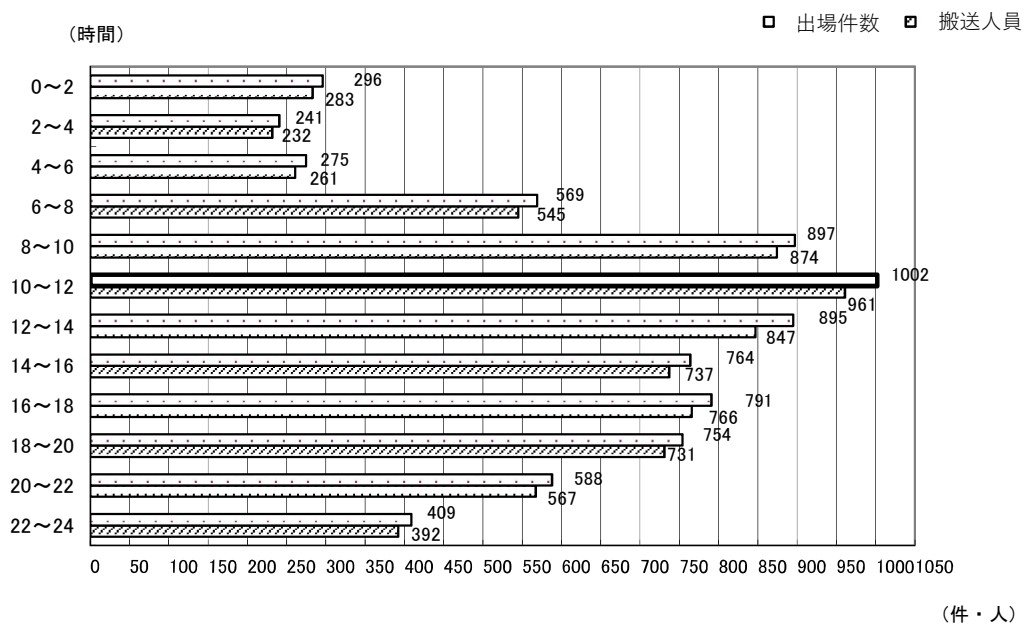


## 時間別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数7,481件及び搬送人員7,196人を時間別に見ると、第5図のとおりである。

出場件数は10時から12時の時間帯が1,002件と最も多く、次いで8時から10時、12時から14時になっており、最も少ない時間帯は2時から4時の241件となっている。

第5図 時間別救急出場件数及び搬送人員

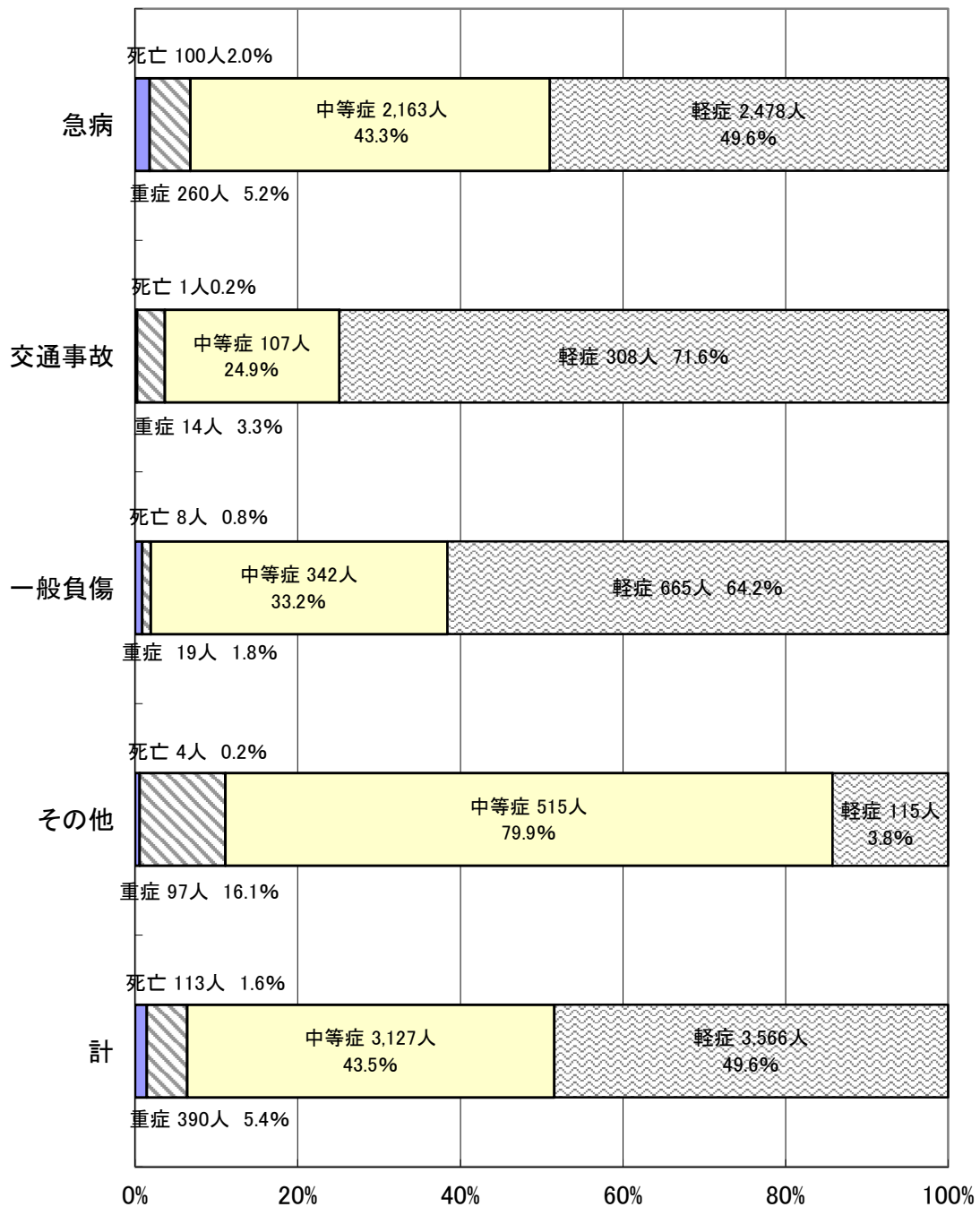


# 傷病程度別搬送人員

搬送人員 7, 196 人の傷病程度別状況は第 6 図のとおりであり、軽症が 3, 556 人と最も多く、次いで、中等症、重症、死亡の順となっている。

傷病程度の軽症割合は、交通事故が 430 人のうち 308 人 (71.6%) で最も多く、次いで一般負傷、急病、その他の順となっている。

第6図 傷病程度別搬送人員の状況

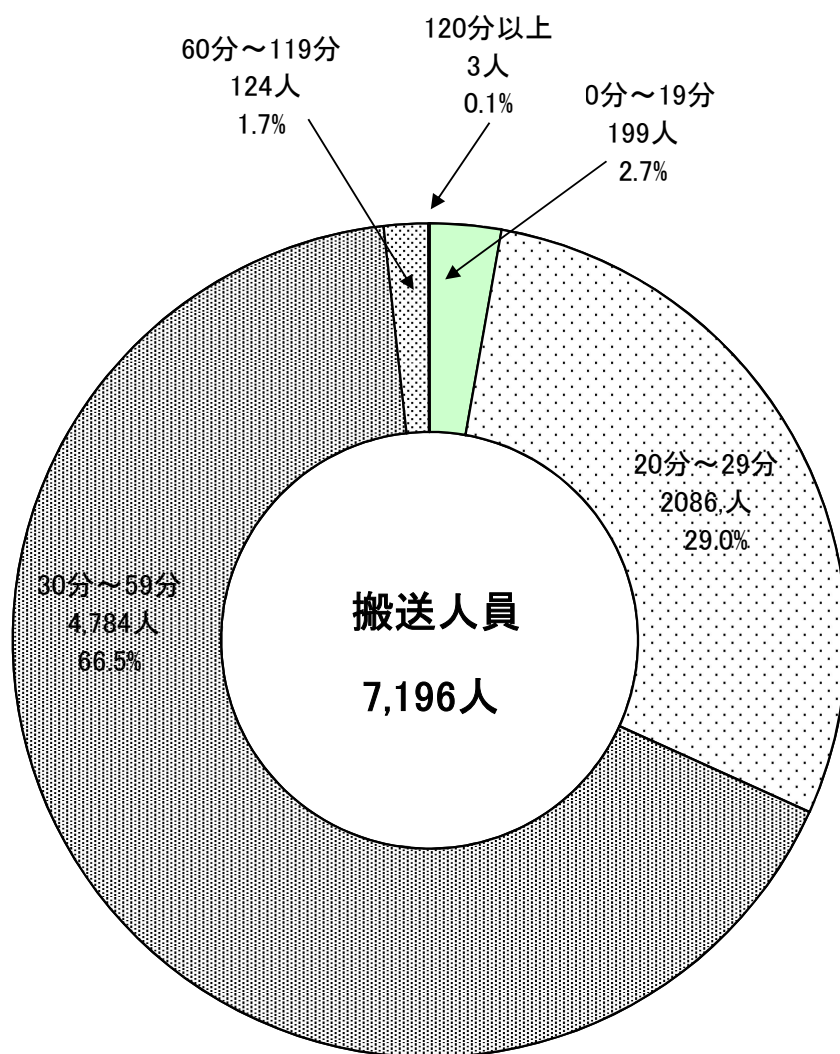


## 收容所要時間別搬送人員

搬送人員7,196人について收容所要時間（救急隊の覚知から医療機関等に收容するまでに要した時間）を見ると、第7図のとおりである。

搬送人員の2.7%が20分未満で病院に收容され、30分未満になると31.7%が收容されている。しかし、30分以上は68.3%であり、この中には管外の医療機関への搬送や転院搬送により收容まで時間を要したものが含まれている。

第7図 收容所要時間別搬送人員の状況



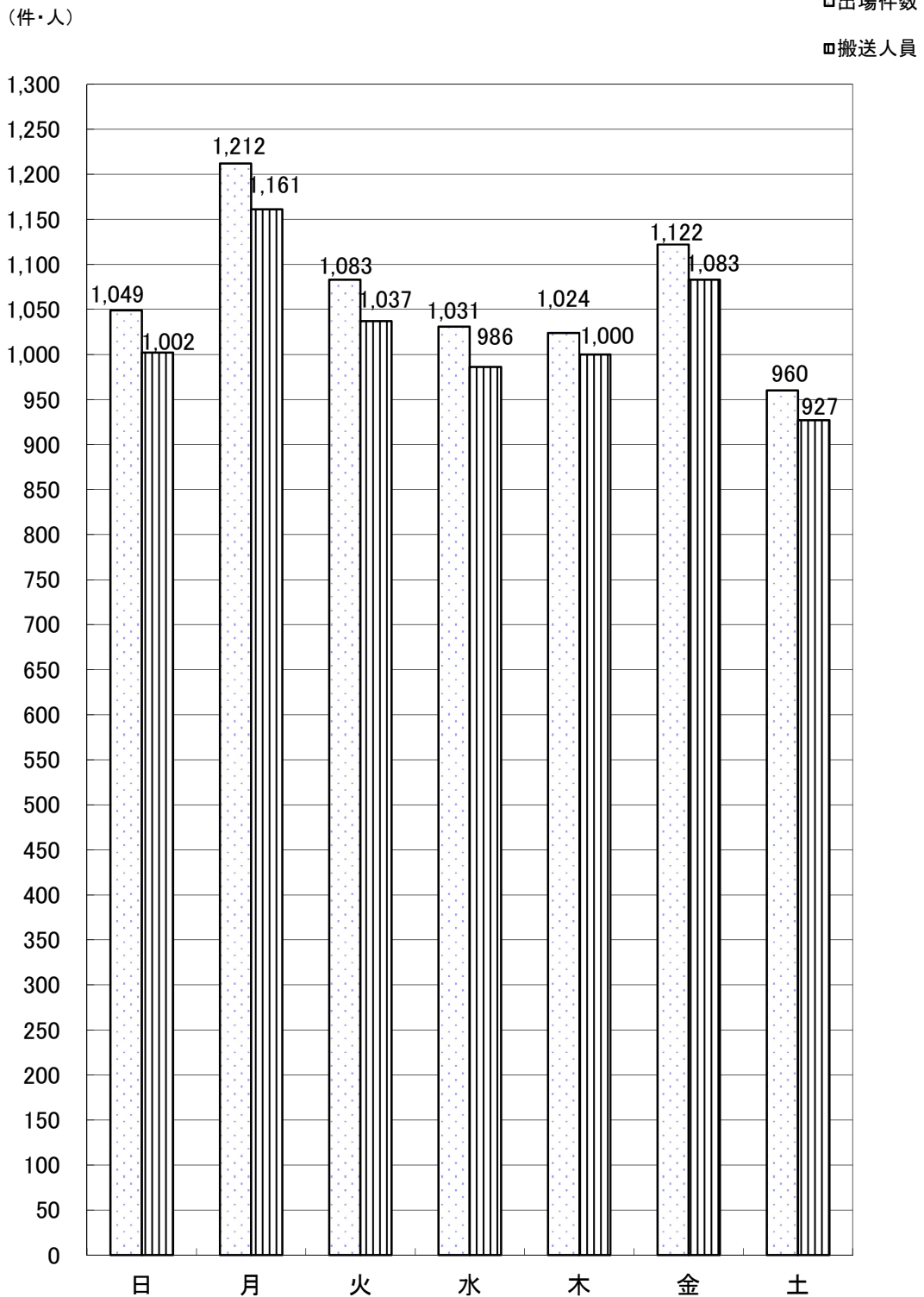
## 曜日別救急出場件数及び搬送人員

救急出場件数7,481件及び搬送人員7,196人を曜日別に見ると、第8図のとおりである。

出場件数は、月曜日が1,212件と最も多く、次いで金曜日、火曜日の順となっており、最も少ないのは土曜日の960件となっている。

搬送人員は、月曜日が1,161人と最も多く、次いで金曜日、火曜日の順となっており、最も少ないのは土曜日の927人となっている。

第8図 曜日別救急出場件数及び搬送人員



## 救 助 概 況

救助出動及び活動状況は、第1表のとおりである。

救助出動件数は106件で、前年の91件と比較すると15件増加している。

出動件数を事故種別で見ると、建物等による事故が37件（34.9%）で最も多く、次いでその他の事故が32件（30.2%）となっている。

救助活動件数は62件であり、この活動により66人を救出している。

救出人員数を事故種別で見ると、建物等による事故が32人で全体の48.4%を占めている。

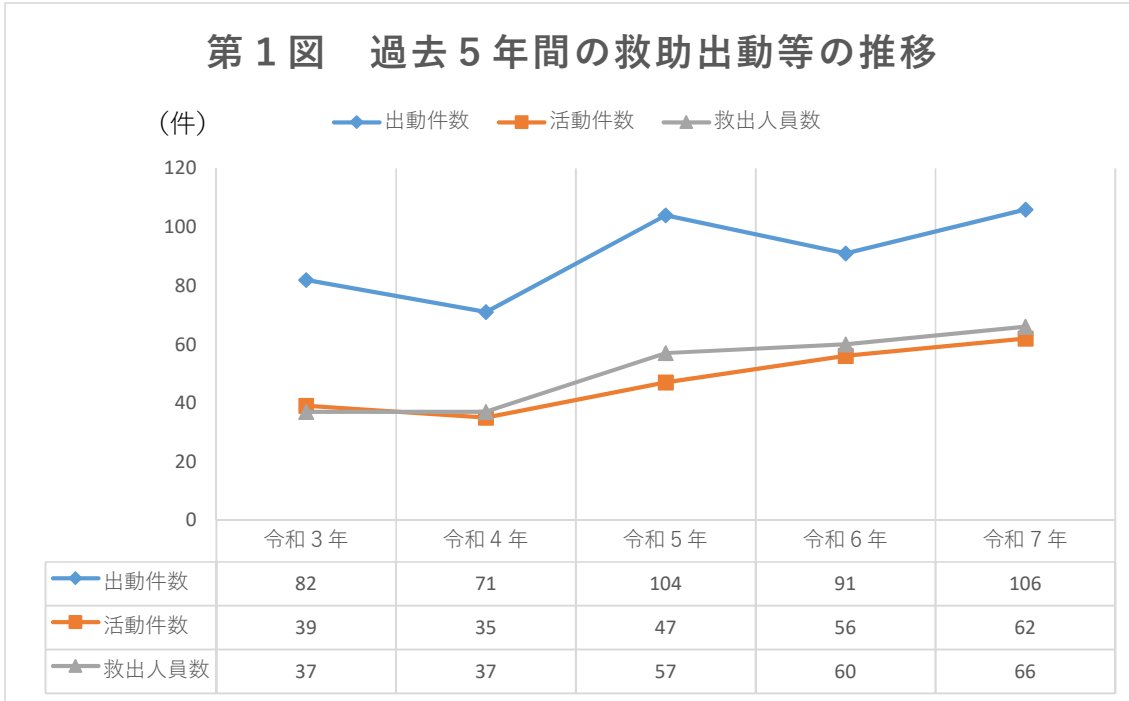
**第1表 救助出動及び活動状況** (件)

所轄別		事故種別	事故種別							合計	
			火災によるもの	交通事故	水難事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	自然災害		その他の事故
本署	出動件数	令和6年		9	1		20	1		10	41
		令和7年		11	1		15			11	38
	活動件数	令和6年		7	1		17			5	30
		令和7年		7	1		12			2	22
	救出人員	令和6年		9	1		16			5	31
		令和7年		7	2		13			2	24
稲沢東分署	出動件数	令和6年		5			13			7	25
		令和7年		11	2		17			10	40
	活動件数	令和6年		2			10			1	13
		令和7年		4	2		14			2	22
	救出人員	令和6年		2			9			1	12
		令和7年		4	2		14			2	22
祖父江分署	出動件数	令和6年	2	3	1		2			3	11
		令和7年	1	4			2	1		4	12
	活動件数	令和6年	2	3	1		1			1	8
		令和7年	1	3			2	1		2	9
	救出人員	令和6年	2	4	2		1			1	10
		令和7年	1	3			3	1		2	10
平和分署	出動件数	令和6年		5		1	2			6	14
		令和7年		5	1		3			7	16
	活動件数	令和6年		2			2			1	5
		令和7年		3	1		2			3	9
	救出人員	令和6年		4			2			1	7
		令和7年		4	1		2			3	10
合計	出動件数	令和6年	2	22	2	1	37	1		26	91
		比率	2.2%	24.2%	2.2%	1.1%	40.6%	1.1%		28.6%	100%
		令和7年	1	31	4	0	37	1		32	106
		比率	0.9%	29.2%	3.8%	0.0%	34.9%	0.9%		30.2%	100%
	活動件数	令和6年	2	14	2		30			8	56
		令和7年	1	17	4		30	1		9	62
	救出人員	令和6年	2	19	3		28			8	60
		令和7年	1	18	5		32	1		9	66

過去5年間の救助出動件数を見ると、第1図のとおり令和7年の106件が最も多く、次いで令和5年の104件となっている。

救助活動件数を見ると、令和7年の62件が最も多く、次いで令和6年の56件となっている。

救出人員数を見ると、令和7年の66人が最も多く、次いで令和6年の60人となっている。



救助出動した106件を署別で見ると、第2図のとおり稲沢東分署が40件（37.8%）と最も多くなっている。

